だんかづら

サルーキ「姫」17歳、プードル「メル」7カ月。仲良しのふたりは本当のおばあちゃんと孫のよう！見つめ合って「大好きだよ」とお話します。
七里ガ浜東　古江さん方

画廊・ギャラリー

●ギャラリー翠堂　1月24～28日　無垢　新春ニットと写真展　☎22・3769

お知らせ

●西松凌波作品展～1月21日和食「あら珠」(雪ノ下)

●被災地の子ども支援バザー　1月20日10～15時、鎌倉市大町の清興建設駐車場。☎24・3700

●徳洲会体操クラブ公開練習と交流会2月24日徳洲会スポーツセンターかまくら。市内在住・在勤・在学・在園者。無料。申込は2月9日までに往復ハガキ。市スポーツ課☎43・3419

●ユネスコ世界寺子屋運動「書きそんじハガキキャンペーン」書きそんじハガキを換金しアジアなどの子どもたちに教育の場を提供する日本ユネスコ協会の運動の一環。ハガキ、未使用切手・プリペイドカード・図書券・収入印紙・金券などを〒247－0053今泉台1－15－7鎌倉ユネスコ協会・梅ヶ辻方へ送付。☎090・3308・7032

みる

▼特別展「北斎と肉筆浮世絵～氏家浮世絵コレクションの至宝」　1月4日～2月4日鎌倉国宝館。葛飾北斎「桜に鷲図」「酔余美人図」「月岡雪鼎「しだれ桜三美人図」などの肉筆浮世絵の名品を一堂に。4百円。☎22・0753

▼「作家と歩く鎌倉その2　由比ガ浜・材木座方面」展　4月15日まで鎌倉文学館。由比ガ浜・材木座方面の魅力を高浜虚子、与謝野晶子、武者小路実篤ら文学者の目を通し紹介。新収蔵資料の公開も。3百円。☎23・3911

武者小路実篤書画

▼川喜多映画記念館▽企画展「巨匠が愛した女優たち」3月11日まで。2百円。▽映画1月8・10・11日「赤と黒」、12～14日「ミモザ館」、23～25日「悪魔のような女」24日上映後「アムール(愛)をめぐって」フランス文学者と映画研究家のトーク。26～28日「気狂いピエロ」。千円。24日のみ千5百円。☎23・2500

▼発掘調査速報展「鎌倉の構造と境界」　1月4日～3月17日鎌倉歴史文化交流館。若宮大路周辺遺跡群と大倉幕府周辺遺跡群の出土品と関連資料の紹介。3百円、市内小中学生・65歳以上無料。☎73・8501

▼原画展「ピーターパンとウェンディ」　1月19日まで北鎌倉の葉祥明ミュージアム。絵本の原画展。6百円。▽作者葉祥明のミュージアムトーク&サイン会6日14時。☎24・4860

▼「北斎と北斎派の江の島」　2月18日まで藤澤浮世絵館。葛飾北斎「富嶽三十六景」など江の島に関わる浮世絵を展示。無料。▽レクチャー「北斎と北斎派」1月20日14時。茅ヶ崎市美術館学芸員の話。無料。☎0466・33・0111

▼第5回「道」展～鎌倉彫・技の回廊 伝統と革新の美　1月12～17日鎌倉芸術館。同館壁面パネル「雲」修復事業完了記念。関わった職人たちと鎌倉彫伝統工芸士の作品。無料。▽「鎌倉彫」講座13日13時半。鎌倉彫の歴史や壁面パネルの解説など。千円。鎌倉彫伝統工芸士会☎23・0154

壁面パネル「雲」

▼第13回鎌倉名画座 小津安二郎監督作品「早春」　1月12日15時、鎌倉生涯学習センター。女優中井貴惠さんと元松竹映画プロデューサー山内静夫さんのトークと上映。千2百円。市芸術文化振興財団☎23・3755

▼「めでたきは蓬春邸」―縁起物・吉祥文の魅力―　2月4日まで山口蓬春記念館。縁起の良い動植物などが描かれた絵画や陶磁器で吉祥文の意味を紹介。6百円。▽学芸員の展示解説13日14時。☎046・875・6094

山口蓬春「扇面流し」

▼鏑木清方 幻想と文学　1月19日～2月25日鏑木清方記念美術館。尾崎紅葉や泉鏡花らの小説挿絵など文学に関連する作品と美人画。2百円。☎23・6405

▼天野尚写真展「未来へ残すべき美しい自然」　1月20日～3月25日本郷台のあーすぷらざ。写真家・天野尚(1954―2015)の超大判カラーリバーサルフィルムで記録した世界各地の「生態風景写真」。無料。☎045・896・2121

▼高田博厚展　1月24～30日鎌倉芸術館。鎌倉ゆかりの彫刻家・高田博厚の没後30周年記念展。「高村光太郎」など市に寄贈された作品を展示。無料。▽ギャラリートーク27日15時、28日11時。市文化人権推進課☎61・3872

高田博厚「海」

▼山川方夫と「三田文学」展　1月27日～3月11日神奈川近代文学館。作家、編集者の山川方夫の原稿や書簡で生涯と作品を振り返る。4百円。☎045・622・6666

▼能楽の催し

▽能を知る会鎌倉公演　1月27日鎌倉能舞台。10時、狂言「仏師」能「胡蝶」。14時、狂言「伊文字」能「熊野(くまの)」。各5千5百円。

▽能楽ワークショップ　1月7日13時半、鎌倉能舞台。1月上演鑑賞ポイント解説や謡初めなど。5百円。☎22・5557

▽日本の伝統文化を体験しよう3月3日10時半、神奈川県立青少年センター。セリフ体験など。小中学生と保護者(小中学生のみも可)。千円。申込は2月1日までにHPか往復ハガキ。県文化課文化事業グループ☎045・210・3808

きく

▼礒部草子新春コンサート　1月21日14時半、SalaMASAKA(東戸塚)。ピアノ、クラリネット、ファゴットのトリオ演奏。石井淳さん(fg)他。ブラームス「三重奏曲」他。3千5百円他。ゾン・イマージュ☎080・1309・4079

▼新春コンサート　東西ネタくらべ　2月24日14時、鎌倉芸術館。桂春団治・桂咲之輔が上方落語、三遊亭小遊三・雷門音助が江戸落語を。演芸評論家長井好弘さんのトークも。3千5百円。鎌倉芸術文化振興財団☎23・3755

三遊亭小遊三さん

▼第3回鎌倉笑輪会　2月24日14時、鎌倉芸術館。桂春団治・桂咲之輔が上方落語、三遊亭小遊三・雷門音助が江戸落語を。演芸評論家長井好弘さんのトークも。3千5百円。鎌倉芸術文化振興財団☎23・3755

▼新春薩摩琵琶コンサート　1月28日13時半、玉縄学習センター。歴史的物語の説明を交えた薩摩琵琶の演奏。無料。申込は16日までに往復ハガキに催し名・〒・住所・氏名・☎を記入し玉縄学習センター☎44・2219

まなぶ

▼中村天風心身統一法鎌倉講習会　1月13日14時、鎌倉商工会議所。「心身統一法概論」。無料。天風会認定鎌倉の会☎44・4461

▼自然を伝える絵本作家のお話 絵本ができるまで」　1月14日14時、腰越行政センター。絵本作家・向田智也さんが里山の一年の絵本創作について広町緑地との関わりも交え語る。無料。要申込。腰越図書館☎33・0711

▼防災のつどい　1月16日10時、鎌倉市福祉センター。気象庁横浜気象台防災気象官の講演「防災情報の利活用について」。無料。市総合防災課☎23・3000

明るく感性豊かな方を募集

ミス鎌倉コンテスト

鎌倉市観光協会が2018年度の諸行事で活躍するミス鎌倉を募集。今回で34回目。

県内在住、今年4月1日現在18歳以上27歳未満(高校生除く)、未婚、選出後年間約80回の行事などに参加できる人。書類選考、2月14日の予選を経て28日の本選で3人を選出、4月8日鶴岡八幡宮で披露。審査員は協会関係者他。賞品はトロフィーと金一封など。

1月31日17時までに応募用紙(HP)と写真を〒248－0012御成町1－12鎌倉市観光協会2018ミス鎌倉コンテスト募集係へ郵送または持参。☎23・3050

購入新図書のリスト抄

鎌倉市中央図書館（11月分）

鎌倉市中央図書館（☎25・2611）は11月に一般190冊、児童書34冊を収蔵した。一般的なものは下記の通り。

▼「鎌倉寺社の近世―転換する中世的権威」中野達哉編（岩田書院）▼「江ノ電ものがたり―映画「DESTINY鎌倉ものがたり」公開記念」TABILISTA編集部編〈双葉社スーパームック〉▼「手島右卿」手島右卿書〈墨New Classic Series〉（芸術新聞社）

▼「小津安二郎の映像を読み解く―映像文化を志す人へ」半田明久著（文芸社）▼「精読小津安二郎―死の影の下に」中澤千磨夫著（言視舎）

▼「すべての子どもに本との出会いを―児童自立支援施設・児童相談所・矯正施設への読書活動の支援」正井さゆり著 広島県立図書館監修（溪水社）▼「「本当の大人」になるための心理学―心理療法家が説く心の成熟」諸富祥彦著〈集英社新書〉▼「人はなぜ戦うのか―考古学からみた戦争」松木武彦著〈中公文庫〉▼「京都、朝あるき」ことり会著（扶桑社）

▼「巨大ブラック企業」佐高信著（河出書房新社）▼「異常気象はなぜ増えたのか―ゼロからわかる大気のしくみ」森朗著〈祥伝社新書〉▼「人生が変わるリフォームの教科書―片づけなくても片づく住まいに」水越美枝子著（講談社）▼「伝わる人は「1行」でツカむ」川上徹也著〈PHP文庫〉▼「絶滅危惧職、講談師を生きる」神田松之丞著（新潮社）▼「寝る前に読む一句、二句。―クスリと笑える、17音の物語」夏井いつき・ローゼン千津共著(ワニブックス)

鎌倉朝日歌壇

香山　静子　選

夕映えの川面引き裂き次々と刃(やいば)となりて鰡(ぼら)跳ね飛べり　片瀬　中村　喬

鰡を刃と見た感性に作者の力量を感じる。

待つ人も待たせる人もなき駅に旅の終りの月のかたむく　鵠沼桜が岡　一色千穂子

淡々とした描写の中にたっぷりとした抒情がある。

嬰児の桜の色の唇に「妬み」「いじめ」の種は植えまじ　笛田　入野　裕江

嬰児を大きな視点から詠んでいる。

桃色のぼらの蕾は木枯しに小さく小さく解(ほど)けてゆきぬ　逗子市　湊　美根子

観覧車の最上段で何語る　語る言葉を風が聞くらむ　藤沢市　青木寿美子

竹垣に棕梠の紐なう稚木屋の指の運びにみとれていたり　葉山町　近藤　純

夜半めざめ口遊みつつ歌詠むもしののめの露と消えてしまえり　辻堂　柳　蒼柳

大山の尾根に出遇へりかはゆくも増えてはこまる子連れの鹿ぞ　七里ガ浜　嶋　尚久

湯気立てて大やかん沸く湯たんぽをいれる夫の腕のたくまし　材木座　有野裕美子

丹沢富士箱根伊豆山その西に隠れおはすは山神様か　藤沢市　春山　多喜

家並の上に頂のみなれど富士の見ゆる日心華やぐ　今泉台　下田　和夫

鎌倉朝日俳壇

星野　高士　選

〈天〉黄落や大判小判撒くごとし　辻堂　柳　蒼柳

黄落が大判小判とは楽しく有難い句、物の見方が斬新。

〈地〉走り根の落葉踏み行く谷戸の径　大船　添田　洋子

いかにも鎌倉の谷戸径の風情がよく伝わってくる。

〈人〉茶の花咲いて如何に在すや遠き友　笛目町　出蔵かおる

上五の一字余りが絶妙。遠き友への届かぬ思いが出た。

ジャズを聴く茶房の窓に冬の海　玉縄　篠田　祥子

冬の海とジャズの音が響き合っていて佳句。

枯菊の僅かばかりの香を焚かん　逗子市　佐藤　信子

中七の表現が枯菊への挨拶となっている。

秋風を丸くとらへて帆舟かな　本鵠沼　森田　順子

秋風を視覚的に捉え面白い。帆舟だから丸いのか。

三渓園古民家の軒吊し柿　腰越　大川　昭子

御十夜の稚児行列に澄ましおり　材木座　羽賀　一男

着ぶくれて鏡を遠く世を遠く　常盤　片岡　和子

道の辺に石蕗の花咲くそこここに　手広　高口　道宏

落葉はき夫の小言は尽きなくて　材木座　有野　冬花

年末のシャンシャン披露を待ち望む　岡本　森田　孝

束の間を無心になりぬ落葉掻　植木　風見　玲子

夕暮や冬田の先に灯の点る　笛田　上田　満喜

せつせつと枝先ひろう冬の蜘蛛　岡本　鳴海　紀政

コッペパン今も健在文化の日　金沢区　岩澤　正春

文学館山茶花一花真紅なり　川名　槇野あさ子

悔ゆること一つふやして冬の星　鵠沼桜が岡　一色千穂子

門松の節目かくしてしゅろの紐　葉山町　近藤　純

短日やふりむけばもう誰もゐず　逗子市　塩谷あい子

かまくらカスター
雪ノ下本店　逗子店
鎌倉駅前本館（かの鎌倉）
ルミネウィング（大船）店

古書　藝林荘（げいりんそう）
古い本、お譲りください
芸能・美術・文学・宗教・和本・摺りもの等
10：30－18：00　月曜定休
鎌倉市雪ノ下1-5-38（小町通り）
☎0467・22・6533
出張買取無料

お香 香炉 香道具 匂い袋 高級線香 念珠 他
鎌倉に蘇える伝統の香り　香司 鬼頭天薫堂 鎌倉
鎌倉市雪の下1-7-5 小町通り八幡宮寄り
TEL. 0467-22-1081（代）
http://www.tenkundo.co.jp/